



KANAGAWA

神奈川県

丹沢大山保全計画

— 丹沢大山の豊かな自然環境の保全と再生をめざして —

平成11年3月

丹 沢 大 山 保 全 計 画

－丹沢大山の豊かな自然環境の保全と再生をめざして－

平成 1 1 年 3 月

神 奈 川 県

丹沢大山保全計画 目次

計画のねらい（第1章）	1
第1章 丹沢大山保全計画のねらい	3
1 計画策定の趣旨	3
2 計画の特色	3
3 計画の対象地域	4
4 計画の構成及び期間	4
5 計画の位置づけ	4
将来展望（第2章～第3章）	5
第2章 丹沢大山の自然環境の現状と課題	7
1 丹沢大山の自然環境の現状	7
（1）概況	7
（2）自然環境の特性	8
（3）現状の問題点	9
2 自然環境の保全と再生のための課題	12
第3章 丹沢大山の将来像	14
1 将来像	14
2 計画の目標と施策の基本方向	14
3 施策を推進するにあたっての基本方針	15

実行計画（第4章～第5章）

17

第4章 施策の展開 19

- 1 主要施策 19
- 2 主要プロジェクト 21
- 3 エリア別の施策展開 46
- 4 関連する事業の概要 63
- 5 施策・事業体系 67

第5章 計画の推進にあたって 69

- 1 県民参加による自然環境保全対策の実施 69
- 2 国及び他の自治体との連携 69
- 3 庁内の推進体制 70
- 4 計画の見直し 70

自然環境配慮のガイドライン（第6章）

71

第6章 自然環境配慮のガイドライン 73

- 1 森林整備に係る環境配慮指針 74
- 2 各種工事に係る環境配慮指針 79
- 3 キャンプ等公園利用に係る環境配慮指針 87

資料編（第7章）

93

第7章 資料編 94

序

多くの人々が登山、キャンプ、溪流釣りなどを楽しむために丹沢山地を訪れますが、その動機の一つは、豊かな森、沢の流れ、鳥のさえずりなどが、深い安らぎを与えてくれるからだと思います。丹沢山地は、このようなレクリエーション活動の場という役割のほかに、各種の動植物の生息・生育地として、さらには、木材の供給や水源かん養の機能を有するなど県民の財産ともいえるべき大切な場所です。今、この山地では、様々な要因で、ブナ林や林床植生の退行、大型動物個体群の衰退などの自然生態系の劣化が進行しています。私たちは、かけがえのない丹沢山地について、一刻も早く自然環境保全のための行動を起こさなければなりません。

国においては、1993年 5月に締結された「生物多様性条約」の実施に取り組んでいくために、1995年10月に「生物多様性国家戦略」が策定されています。生物多様性とは、簡単にいえば、地球上に様々な生物が存在しているということです。同国家戦略では、生物多様性を種、種内（遺伝子）及び生態系の三つの柱で捉え、「生物多様性は、人類の生存基盤である自然生態系を健全に保持し、生物資源の持続可能な利用を図っていくための基本的な要素であり、遺伝、科学、社会、経済、教育、文化、芸術、レクリエーション等様々な観点からその価値が認識されている」としています。そして、同国家戦略では、生物多様性の保全とその利用を持続可能なものにするための基本方針と、今後の施策の方向が示されています。

本計画は、各種の自然環境保全対策を科学的・総合的に実行することによって、丹沢山地の生物多様性の保全と再生を図ろうとするものであり、「生物多様性国家戦略」の趣旨と合致するものです。ところで、自然生態系の劣化の状況を踏まえたと、こうした保全対策を推進するとともに、丹沢山地を利用又は管理する行政、事業者、県民等が、生物多様性の保全についての意味を深く認識し、常に自然環境に配慮した行動をとることが求められます。

丹沢山地における自然環境への配慮に関しては、第6章でそのガイドラインを示していますが、森林整備については、「多様な森林生態系の保全」を基調とすることが求められますし、各種の工事については、自然にやさしい施工技術を開発するとともに、現時点での最良の方法により、環境への負荷を軽減させる必要があります。また、丹沢山地への人々の入山による自然環境への影響は無視できない現状にありますので、利用者はフィールドマナーを身につけて適正な利用を心掛けなければなりません。

また、丹沢大山自然環境総合調査報告書の中で、同調査団は「丹沢山地の自然環境変化の大きな原因は、我々の都市的な生活そのものにあることを見据えていかねばならない」と指摘しています。私たちは、丹沢山地の自然環境に影響を与えていると推定されている広域的な大気汚染の問題に対応し、また、ダム等の大規模な工事を減らしていくためには、普段から、自動車の排気ガスを抑制し、水や電力を大切に使うといった生活行動に努める必要があります。

生物の生息・生育環境の破壊や悪化が進み、これらと連動して急速に種の絶滅が進行するなど、地球規模での自然生態系の危機が警告されています。このような中で、多様な生物を育む豊かな丹沢山地を次なる世代に引き継ぐために、できる限りの努力をすることが、私たちに課された責務といえます。